

2025 年 6 月 20 日 上田 勉

第 9 回仙台国際音楽コンクールが開催される

第 9 回仙台国際音楽コンクールが開催されました。この音楽コンクールは、3 年に一度、杜（もり）の都仙台で行われます。ヴァイオリン部門は 5 月 24 日から 6 月 8 日まで、ピアノ部門は 6 月 14 日から 29 日まで開催されました。世界中から多くの若い演奏家が参加しました。この音楽コンクールの特徴は、出場者がオーケストラ（仙台フィルハーモニー管弦楽団・山形交響楽団）と、協奏曲で共演することです。

審査委員は、ヴァイオリン部門は、堀米 ゆず子（日本）・堀 正文（日本）・ヤンウク・キム（アメリカ）、ピアノ部門は、野平 一郎（日本）・海老 彰子（日本）・ジャック・ルヴィエ（フランス）、他の方達です。審査員の投票によって、入賞者が決まります。

審査は、予選・セミファイナル・ファイナルと 3 回あります。セミファイナルとファイナルでは、オーケストラと協奏曲を協演します。今年は、ヴァイオリン部門もピアノ部門も、モーツァルトの協奏曲が課題曲になりました。聞くところによると、モーツァルトの協奏曲はシンプルなので、演奏者の技量がよく分かれるとのこと。出場者は、テクニックは一流ですが、曲の内面の解釈や表現方法で差がつくとのこと。最近の音楽家は、音楽大学だけではなく、一般の大学に入学して、リベラルアート（一般教養）を学ぶ人も増えているとのこと。

審査結果は、ヴァイオリン部門は、ムン・ボハさん（韓国 2006 年生まれ）が、金賞なしで、銀メダル・ディプロマに輝きました。ピアノ部門は、エリザヴェータ・ウクラインスカヤさん（ロシア 1996 年生まれ）が金メダル・ディプロマに輝きました。また、12 歳の天野 薫（日本 2013 年生まれ）さんが、銅メダル・ディプロマに入賞したことが、話題になりました。

私は、交流サロン運営と審査会場案内のボランティアをしました。予選で次のステージに進めない出演者は、翌日にホテルをチェックアウトしなければなりません。その人達は、ホームステイをすることが出来ます。交流サロン運営では、出演者とホームステイの家族との話しについて、片言の英語で通訳します。審査会場案内では、聞きに来たお客さんの指定席等の案内します。遅れて来たお客さんを、どの f 段階で会場に入場してもらうのかも仕事です。

今回は、演奏家の人達と直接には話しはできませんでした。前回では、ホテルの傍でどこで食事をしたらよいか、などについて聞かれました。他の案内の人は、仙台駅の牛タン通りや鮎通りを案内しましたが、私はイオンが「more cheap」だと案内して喜ばれました。

また、ヴァイオリンはホテルでも練習できますが、ピアノは会場（日立システムズホール仙台）や楽器店でしか練習することが出来ません。楽器店への行き方について案内

しました。また、楽器店へ行って、出場者に直接に案内をしました。



【ヴァイオリン部門の出場者（日立システムズホール仙台）】（2025 年 6 月 14 日撮影）



【ピアノ部門の出場者（日立システムズホール仙台）】（2025 年 6 月 28 日撮影）